千曲川・信濃川（飯山・中里間）の「中抜け区間」の解消に向けた見直しを求める意見書

千曲川、信濃川は一級河川として、長野県、新潟県の両県にまたがり幹川流路延長、年間総流出量とも全国一の大河である。

この河川には、国が管理する区間の中に県が管理する、いわゆる「中抜け区間」が存在しており、本市や関係団体は長年にわたり、国の直轄管理区間に編入するよう要望してきた。

河川管理は本来、水系一貫主義が原則であり、国民の生命や財産を守り、安心・安全な国土を築くためには、広域的で重要な一級河川について、国が責任を持って確かな治水対策を行うことが必要である。

国においても、平成25年に閣議決定した「事務・権限の移譲等に関する見直し方針について」では、直轄事業の対象について、地方管理道路・河川の直轄編入を含め、必要な見直しを行うこととしているが、依然として中抜け区間は解消されていない。

よって、本市議会は、国会及び政府において、河川の統一的な方針に基づく改良や維持管理、洪水対応等の適時的確な実施体制を確保するため、千曲川、信濃川（飯山・中里間 39.65km）における中抜け区間の解消に向けた見直しを早急に行うよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月20日

衆議院議長 あて
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣
総務大臣

飯山市議会議長 渋川 芳三